

平成27年度 第1回 府中市文化財保護審議会議事録

日時 平成27年6月26日（金）午後2時

場所 ふるさと府中歴史館3階

出席者 田中会長、小澤委員、坂詰委員、中村委員、馬場委員、以上5名

事務局 黒澤課長補佐、英市史編さん担当主幹、和田郷土資料担当主査、荻野事務職員、小林事務職員

傍聴者 なし

1 報告事項

会長 それでは報告事項（1）について、事務局の説明求めます。

報告事項（1） 国史跡武蔵国府跡（国司館地区）保存・活用・整備に伴う基本設計について

事務局 資料1をご覧ください。平成26年度にこちらの基本設計について詰めてまいりまして、ようやく市として基本設計の案がまとまりました。本会に諮った後、教育委員会と議会に諮る予定です。

1ページ、これまでの経緯です。平成22年度に国司館地区を府中市が取得し、平成23年度の市民懇談会を実施し提言をいただきました。平成24年度に保存、整備及び活用基本計画という形で計画の提言をいただきました。平成25年度に大國魂神社と国衙地区を含めた武蔵国府跡全体の保存管理計画を策定いたしました。その内容を踏まえて平成26年度に基本設計を行いました。

2ページ、計画地の概要です。

3ページからが、今回の基本設計のテーマです。地域とともにつくる個性豊かなにぎわいの場「武蔵府中 史跡の駅」というキャッチフレーズを考えました。国司館地区に必要な機能として4つの機能を想定しました。1つが歴史的遺産の保存・継承機能で長年に渡る武蔵国府跡の調査研究の成果を公開して見て触れることのできる場所、2つ目が情報発信機能で府中市の歴史・文化を市内外に発信して、市内の様々な文化遺産・文化施設を巡り歩く際の拠点となる機能を考えております。国分寺市には、「史跡の駅おたカフェ」というのがありますので、国府と国分寺という繋がりで連携していきたいと考えておりま

す。3つ目が地域連携機能です。地元の市民の皆様に密着した愛される施設を実現したいです。4つ目が休憩機能です。駅前にある遺跡なので多くの方が訪れると期待されますので、ふらっと立寄った方でも気軽に入って時間を過ごせる機能を考えております。

5ページからが、基本設計の前提条件です。史跡整備というと、保存・整備・活用ということで、先ず遺跡を保存して、ハード面の整備をして、活用していきましょうという流れが一般的です。こちらは保存を先ず行って、将来の活用を考えた上でのハード面の整備を行うという保存・活用・整備というコンセプトで設計を考えております。(荻野注：これは平成26年度第5回文化財保護審議会で課長より詳細に説明がありましたので坂詰先生以外には耳に蝸な話です。あと、この説明では両者の違いが分かりません。むしろ、段階的に整備するということから、整備途中でも活用しますという説明の方が通り易いかと思います。) 具体的な活用の方針がこちらに書かれています。

① 歴史的魅力を発信し、先人たちの心に思いを馳せる空間

史跡の本質的価値である古代国司館と、徳川家康府中御殿という府中の歴史を象徴する2つの史跡があり、そのハード面の整備では国司館がメインですが活用としては国司館はもちろんとして、徳川家康のネームバリューは広く浸透していますので、国司館と府中御殿の二本柱で活用を考えていきたいです。

② 歴史遺産を通して、未来のために今を知る空間

古代から今に至る歴史と伝統あるまち府中を知り、未来を担う子どもたちの郷土への誇りと愛着を高めていくための活用を図ることを考えていきたいです。

③ 市の中心市街地や歴史文化遺産の回遊拠点となるシンボリック空間

この場所を中心として、市内に点在している例えば武蔵府中熊野神社古墳とか郷土の森博物館、あるいはケヤキ並木、そして隣りの国府跡、といった地域を巡る拠点として活用していけるような機能を持たせたいと考えています。

④ 「電車を降りたら、1分で奈良時代」

日本一JRの駅に近い史跡ですので、JR東日本八王子支社の課長様が史跡整備協議会の委員としてご参加いただいておりますので、そちらと連携した活用を図っていきたいと考えております。

⑤ 地域のコミュニティが生まれ、駅前の賑わいを創出する空間

子どもから大人まで、幅広い世代の市民が何度も繰り返し訪れたい空間を創出したいと考えております。

6ページが活用の計画です。

7 ページが国司館地区の活用カレンダーです。この場所が1年を通じて常に沢山の人が訪れて賑わうために、何かしらのイベントが行われる場所にしていきたいと考えて、府中市内のこの周辺の既存のイベントだけでも沢山ありますが、ここに掲げたのは思いつくままに列挙しただけのものです。

このカレンダーの下の2段はそれぞれの季節にそういったイベントに関連するイベントの例を挙げてあります。歴史文化に関連しないイベントも行う。市民が自主的にイベントを催す活用の仕方であっても良いと考えております。

8 ページからが基本設計の概要です。基本方針は4つです。

① 史跡指定地内の遺構の適切な保護

史跡として当然のことですが、史跡指定地全体を現状のまま保存することを前提とし、全体に厚さ30cm以上の盛土をして遺構の適切な保護を図ります。

② 「基本計画（提言書）」に基づくゾーニング

8 ページ右側のゾーニング計画配置図をご覧ください。全体を3つのゾーン、国司館の遺構がある「A. 古代の空間再現ゾーン」、その北側が「B. 国衙地区連携ゾーン」、駅に接する「C. にぎわい創出ゾーン」の3つに分けてそれぞれ整備をします。これは平成24年度の基本計画の提言をそのままこちらに活かしているものです。

それぞれのゾーン毎に段階的な整備の実施工程を考えています。これは整備をするにあたり、駅前のにぎわいと？空間が（地域住民から）求められている場所ですので、単純に文化庁の歴史的整備だけでなく、幅広い視点での整備が求められています。そこで、Cは、国土交通省の中心市街地活性化事業の一環として、府中駅を中心とした市街地のにぎわいを生み出す計画があり、その中の一つに国司館地区の整備を位置付けるという方向性がまとまりましたので、国土交通省の補助金を使って整備しようと考えています。

つまり、AとBのゾーンは文化庁の補助金で、Cは国土交通省の補助金でそれぞれ整備します。

今年度はAとBのゾーンの実施設計をして、来年度以降に着工します。

Cは、来年度この場所の活用方法を民間の市場調査をして、再来年度に実施設計し、平成30・31年度に着工を予定しています。

9 ページが全体配置図、10 ページ以降が具体的な整備の説明です。

国司館の遺構は、奈良時代前葉の掘立柱建物跡を整備の対象とします。全体配置図ではSB5、SB7、SB8です。国衙地区のように赤い柱を建てて、出来れば柱を取り外し可能にして、イベントの際に邪魔にならないようにしたいです。

正殿のSB5は、出来ればバーチャル技術でタブレット端末やスマートフォンの画面で見ると建物や歴史上の人物が（実際の景色を背景にして）浮かび上がって表示されるような復元考えています。11ページ（の写真）がそのイメージ図です。史跡の中を巡り歩いてある地点に来てから画面を見ると建物や歴史上の人物が画面に浮かび上がるというものです。

実物を建てることも検討したのですが、諸般の事情で難しいです。

Bのゾーンは、入口に近いということで、地元の方の、例えばくらやみ祭の山車とを入れて、囃子をしたりという行事が出来たらというご要望がありましたので、この灰色の部分は舗装をすることになりました。御殿跡の柱の列は復元しないで、平面的に表示をしようと考えております。

クリーム色の部分は国司館の庭というコンセプトで、古代の縁の植物を植えてミニ万葉植物園として、市民と協働で管理していきます。

薄緑色のSX207という遺構のある箇所は芝を貼ります。

オレンジ色の部分は施設全体を巡る園路で、インターロッキング舗装をします。

Cのゾーンは工事完了までは最低限の物を置き、その間はBのゾーンに仮設のトイレ等この遺跡を公開する上で必要な建物を置きます。

12ページの右段が管理・運営計画です。

これについては出来る限り地域の方の主体的に関わっていただきます。その為の作業部会を作り、話し合いを続けます。

13ページ上段が概算工事費です。

第1期工事分（A、Bゾーン工事）として約3億1,773万円です。

第2期工事分（Cゾーン工事）は来年度・再来年度に見積もります。

今後のスケジュールは13ページ下段のとおりです。

14ページが各政策との連携です。

中心市街地活性化基本計画（都市整備部計画課が主管）との連携は、15ページの地図のとおりで、京王線府中駅を中心に、北がルミエール府中と府中公園、南が国司館地区の本計画の範囲です。当課としては京王線府中駅からケヤキ並木を通過して、ふるさと府中歴史館、大国魂神社を経由して、国司館地区を経て、JR府中本町駅に至る動線（人の流れ）を作るために国司館地区の整備をするというコンセプトで連携します。

市役所新庁舎ができますとふるさと府中歴史館の機能はそこに取り込まれま

すので、新庁舎と国司館地区とで機能分担をします。市全体の歴史の展示機能は新庁舎に、国司館地区は武蔵国府跡・国司館・府中御殿についての展示機能を担います。

国司館地区には、大型バスの駐車場やちゅうバスのバス停を設けて欲しいとの地元の方のご要望もあるのですが、それは新庁舎に担わせることとします。

最後のページは、絵の下側が北方向で、旧イトーヨーカドー（現ラウンドワン）のビルから斜めに見下ろした俯瞰図です。この様に赤い柱を建てます。主殿はオレンジ色と赤色の柱で描きましたが、庇のある建物ですので、庇を支える柱がオレンジ色、本体を支える柱が赤色に色分けしました。

建物本体を復元するのではなく、バーチャル技術を使い画面を通じて見た場合に、この場所に建物が浮かび上がるという展示方法を採用予定です。

周囲の緑色の部分には、武蔵野の屋敷林では一般的なシラカシの木が良いのではないかとおもいますので、それを植える予定です。

以上です。

会長 これについて、委員さんのご意見を伺いたいと思います。

この施設そのものは、古代の歴史の復元と、年中イベントをやって人を集めるのがコンセプトでしょうか。国衙地区連携ゾーンの建物の柱の穴は、固めたタイルかなにかに丸い印が書いてあるだけで、そこに建物があつたとはイメージできないね。それから、古代空間再現ゾーンも工夫が必要だと思います。にぎわい創出ゾーンは、上野公園ではスターボックスだったかな、それがある。

（その集客力で）人が集まっていると思いますよ。そういうのに貸すとか何か人が集まる要素があればいいけど。

馬場委員 あの場所は、人が集まるとすれば、競馬（の開催）があるから、そのイメージがあつて、却って良くない。

会長 銀座3丁目辺りに場外馬券売場がある。そのコーヒー屋さんはいつも混んでいる。場外馬券を買って、携帯を持ってレースを見てます。コーヒーを飲みたくてもそういう人達ばかりで満席になってしまう。その様になる可能性もある。

その他、質問があつたらお願いします。

中村委員 バーチャルで復元するというイメージが良く分からないのです。タブレットかスマートフォンで、そこで何かすると見れるというのは、自分のスマホをそこに持って行って何かをすると見れるということですか。

事務局 お手持ちのスマホに、アプリケーションソフトをダウンロードして、見えるという形が望ましいと思いますし、スマホをお持ちでない方に貸出用のタブレットを用意するという、その両方があって良いと思います。

馬場委員 狭いエリアだけで機能するアプリですね。

事務局 いま、国分寺との観光の連携で、国分寺・府中 観光アプリ「ぶらり国・府」というのがございます。それにも連携してということも考えております。

中村委員 そういうので見れるのであれば、国府の様子はもちろんのこと、娯楽的要素も含めて、例えばその場所に行けば、こういうゲームが出来るとかすれば、ここに人が集まる。そのために来る人がどれ位居るかは分かりませんが、それだけ楽しめるとなると人は来る。国府の復元の絵を見てもそんなに大勢の人は来ないと思う。

馬場委員 郷土の森博物館の常設展示室を最初に作ったときに、最後の映像コーナーで子供向けにサイコロゲームが出来るようにしたのです。それを目当てに確かに子供が放課後にやって来きました。そういうことは有りますので、それは良いアイデアだと思います。ゲーム感覚で遊べる歴史の（教材とか。）

中村委員 子供を集めるというか何度も来させるには遊び道具が必要です。

馬場委員 最近は何でもキャラクター化してしまうので、それで歴史ブームということで、アニメみたいな形にして遊んでいる人達があります。それは開発力次第だと思います。

中村委員 ここの1階でやっているゲーム程度のものでも良いかもしれません。

馬場委員 複雑に動きながらの点取りゲームみたいなものもありますね。
それで、これは井戸や中世城館みたいな溝が出ていたはずですが、白紙ですけど

事務局 井戸はにぎわい創出ゾーンに含まれますが、これは遺構の目玉の一つだと思いますので、復元を考えております。

会長 線が引いてあるのは階段ですか、駅の方が高いのですか。

事務局 駅舎の方が高いです。全体に盛り土はしますが、それでも駅舎より少し降りる位置になります。

馬場委員 マンション側に国府台一覧図が見えるような展示はしませんか。

会長 一辺が100m近くあるからかなり広い場所ですね。そこでボール遊びとかは禁止とかするんですね。

中村委員 周囲に植栽をするのであれば、その根元を見下ろす所にずらっと絵や写真を並べるとか、下なら景観を損ねないので、そういう場所に展示をする。そこには展示解説も入ると良いと思う、低い所にそういうのを付けるというのが考えられるじゃないかなと思う。

それから、柱を取り外し出来るようにするのならば、座れる位の高さにしておけば、普段は休む椅子になるし、低い程取り外しも簡単にできる。高い物だと基礎の深さもそれなりに必要になりますし、(基礎が遺構面に達する深さにはできませんから)、そういうのも考えて良いのではないかなと思います。

それで、建物中央部分には地面に埋め込む形でその建物の図位あっても良いような気がします。解説版を埋め込む。柱を取り外して広場にするなら、高さがあると邪魔になるから。

会長 何か一つは(実物の)復元が必要ではないですか。柱だけではなくて。

中村委員 柱だけではなく、屋根までであると良いのですが、それは維持管理、予算面、活用面で難しいということなので。

会長 何かあつと思われる何かがあると良い。

馬場委員 駅から見て「あれ何」と思われるものですね。

中村委員 国衙地区連携ゾーンに、例えば、周辺の地図や府中市全体の地図を埋め込むのも良いかもしれない。柱跡だけでなく地図的なものを埋め込む、地元の方は空中写真があると喜びますし、旅行者にも府中のイメージを作るのに役立つので、長持ちする陶板みたいなもので作れば良い。それを目当てには見に来ませんが、立ち止まって見るにはいい。

馬場委員 ここは閉めたエリアになるのですか。

事務局 はい、時間を区切って閉めます。

馬場委員 夜は閉めるということですか。

会長 上野公園の噴水があった所をそれをなくして平らにして年中貸出ししています。そこで陶器市とか古本市とかしている。(この国衙地区連携ゾーンは) ああいうのに使えるよね。上野公園の場合は、1週間単位で貸してるのかな、ああいうのをやれば、市は潤うよね。ついでにその催しを目当てに来た人は周囲を見て(興味を持って)帰ってくれば良いのかな。

馬場委員 あまり潤わないのです。郷土の森でもフリーマーケットとかやっていますが、最近はあまりやっていないのです。

会長 それは場所が悪い。

馬場委員 そう言われればそれまでですが、確かにここは駅前ですから(立地が良い。)それで、(そういうイベントを)市民対象にすると事務量がかなりのものになります。

会長 だから、自分でやるのではなくて(市が主催するのではなくて)業者に貸すと良いと思う。

馬場委員 そういうのが、駅前活性化みたいな(会合で)市民の意見としてずいぶん出ていたのですよ、きっと。道の駅を作るという話になる。

会長 (受託業者は)インターネットで募集できるから、情報(の伝播)は速い。だからそういう事をすれば良いかな。7ページに書いてあるイベントは結構手作りでやる感じだから、これは市の職員が関わってやるとなると大変だよね。(国衙地区連携ゾーンという)広場が一番の売りになる。こういう広場は府中には無いのではないかな。いや中央文化センターの北側にかなり広い公園があったね。

事務局 (都立)府中公園です。

会長 そこは何に使っているの？

事務室 府中駅周辺でのお祭というあの場所を使っています。

会長 あの場所もかなり広いよね。200㎡ぐらいはある。御殿地に近い広さがある。でも、(舗装されていないから、)雨が降った時にどうしようもない。

事務室 現在、中心市街地活性化基本計画が策定中ですが、内閣府の認定を得ないといけないのです。その認定を受けられれば国の交付金がいただけるメリットがあります。それには、活性化のポイントが点在しているだけでなく、それらを回遊しながら人の動線を絡めて地域を潤していけるかが大事で、史跡がある、文化施設があるだけでなく、点を線にすることを市として計画に表さないといけないと伺っております。

たとえば、ケヤキ並木でも日曜日の歩行者天国の日に府中マルシェをやったりとか色々なイベントをしています。大國魂神社でも毎月なにかしらのイベントをやっています。御殿地の方でもそれにタイアップする形でイベントをしたい。一箇所だけでイベントをしていても、それだけで見に来るというのでは(動機としては)弱い。ここに来れば、あれもやっていた、これもやっていたという次いでというのは変ですが、色々な事をそこで体験できるという付加価値をいかに沢山付けるかが、市の課題になっています。

それは、一つの課だけではなくて、例えばコミュニティバスを通らせたかどうかとか、史跡にバスは止められないので難しいのですが、そういった人の動線を、一箇所だけではなくて全体的にやって盛り上がらせる方法は無いのかというのを市内で連携していくことが重要と考えております。

それは御殿地の活用の仕方)だけでは解決しませんので、他の部署や機関と連携を取らないといけないのです。

JR東日本の計画、府中市の都市計画との兼ね合いもあり、すぐに実現はできませんが、長期的にはそういうことを考えています。

馬場委員 ここのエリアを何と呼ぶのか。市民に何と呼んでもらえるのかのネーミングがやはり大事です。国司館地区とはなかなか呼んでもらえないと思う。それで「国府跡へ行こう」となると、国衙地区になる。史跡名には御殿は入っていないけれど御殿を活かすのかあるいは国府台という歴史的に呼んで来た名称があるから国府台広場とか。その辺のネーミングで、どこどこへ行こうという時に言い易いものを考えないといけないんじゃないかと思う。

この史跡名は今は仮だから良いのですが、これを(正式)名称にするのはな

かなかしっくり来ないかなと思う。

特に遊びの部分を取り込んでいこうという時には、行ってみようの気分になる様なネーミングが必要です。

中村委員 御殿公園とかね。

馬場委員 そんな感じですか。御殿とか国府台とかその辺が歴史的名称でもあるから良いのかなと思いますが、それが史跡名称とうまく擦り合いが取れるのかです。

会長 国分寺のおたカフェというは、イメージとしてはどんな感じなのか。

馬場委員 小さなお店で、国分寺参道にあります。

会長 そんなに広くない。

馬場委員 広くないです。民家を改築したものです。席はいくつかあり、お食事もできる。すごく親切なボランティアさんがいる。

会長 そうすると参考にはならないな。

史跡の駅というと道の駅みたいに物を沢山売っているっていうイメージがある。

馬場委員 そういうイメージの施設は郷土の森博物館の前に作られている郷土の森観光物産館でしょうか。

小澤委員 野菜を良く売っている所ですね。そういうのは府中駅北第二庁舎の1階にもある。

馬場委員 ああいう機能も考えていらっしゃるのかな。

会長 買い物客も想定しているのでしょうか。

事務局 (市の施設として) 既に在る物を造るのは難しいです。

会長 府中駅のガード下の野菜直売所はもうやっていないのですか。

事務局 それが今は第二庁舎の1階に移転しています。

会長 ここに同じ機能の建物を造るのは二番煎じになるから、ここでは考えられないということですか・

事務局 はい、さらに物産館も在りますので、難しいと思っております。

会長 つまり、あれ（物産館）と同じ物を造ったら、その客が取られてしまうということか。今まで自転車で買いに行っていた人が皆こちらへ来てしまう。（物産館が）潰れてしまうと。

事務局 物産館には駐車場がありますので、車で行く方はそちらの方が便利です。こちらの施設には一般車両の駐車場がありませんので、住み分けは出来るかもしれません。

馬場委員 駅を取り込むなら、他のエリアから来る人達も考慮するのでしょうか。

会長 物品販売は出来ないということですね。それではレストランかな、食事処は欲しいな。

中村委員 前回（平成26年度第5回文化財保護審議会）に聞いた話だと、1階にそういう売り場を造って、2階に喫茶店みたいなのを造り展望を見られるということでしたが、今もそういうことなのですか。

事務局 我々としては、色々な機能を持たせた建物を考えてはいるのですが、今回は第一期分の歴史的価値を高める整備についてまとめました。

にぎわい創出ゾーンについては、その後の計画の中でやっていくこととなります。そのため、前回の考えとは違う形になる可能性があるということです。

ただ、その建物の機能としては、解説だけではなくて、お店や食事処の機能も無ければ、反対に人が来ないだろうと思っています。

会長 そうだろうね。

事務局 今後、府中本町駅に駅ビルが出来るという予定があると分かれば、それに取り込んでいただくということも考えられると思うのです。そうなるとそれはかなり先の話になります。その辺の見極めが難しい。

中心市街地活性化基本計画は、来年6月に認定をもらう予定で、認定後5年間で整備となりますから、その中でにぎわい創出ゾーンの整備をすることになります。そうすると施設を造るなら、文化庁との調整もありますが、最低限、先程中村先生が仰った機能も盛り込まないといけないということになります。

馬場委員 JRに駅ビルを作られたら、ますます景観が悪くなる。眺望がまるでどちらも無くなってしまう。

中村委員 JRが駅ビルを作る計画は有るのですか。

事務局 今のところは有りません。

会長 当面は1期工事の史跡の整備をメインにやる。それで仮設の屋外展示と便所を設置すると、それは3年間掛かる。

それから、2期工事でのにぎわい創出ゾーンの整備をすると。

馬場委員 1期工事の間も、工事中の場所は除いて、イベントスペースとして活用するのですか。この前、放鷹術とかやった様にです。

事務局 イベントを実施するのに必要なスペースが確保できれば活用します。

会長 (工事箇所と) 分けていけば出来ますね。

中村委員 イベントを実施する場合は、工事は中断すれば、広場として使える。

事務局 なるべく早く、色々な方にあの場所を使っていただくのが大事だと思います。

中村委員 中心市街地活性化で言うと、京王線府中駅とJR府中本町駅との通路として、ここも含めて何かを整備するのが市役所の課題の真ん中に来る。極端に言えば、市役所(庁舎)の真ん中を通り抜けるルートを作る。

そのルートをアーケードに、傘を差さないで駅から駅へ移動できるようにするとか。その中にこのにぎわい創出ゾーンも位置するということですか。

事務局　そうです。

中村委員　ではそうした方が良いと思う。地元の方は分かるかもしれないけど、少し離れた場所の人は、府中本町駅前に近いよと言われても、どう行ったら良いか分からない。

馬場委員　お宮の中を通過して、国府台勝概一覧図にあるような（観光）ルートを作れば良いと思います。あれは神社から国府台へ行かすための絵図ですから、そういう江戸末期の観光開発をなぞれば良いのではないかと思います。

中村委員　歴史的な（ルートとしたら）ケヤキ並木を通り、神社を通過という。

馬場委員　そうです。そして帰りは府中街道を通過して（御旅所前で右折して、旧）甲州街道を通るというルートです。

会長　広場を作るのは意外と重要かもしれないね。広場があれば、使い方は無限に広がっていく。ポンピドーセンター前の広場は結構広い。日本にはああいふ広場は少ないというか無い。

中村委員　皇居前広場がそういうものかな。

会長　皇居前広場はそういう役割をしていない。だから、極力広場を大事にすれば使い途は色々あると思いますね。

あと、売店を作るのなら、道路に車が停まれるようにして、夜も営業するように考えるべきだね。東京都の現代美術館はレストランが一番奥にある。だから年中業者が居座らず（賃貸料を）無料にしても入ってくれない。だから、国立劇場とかは外から自由に劇場に来た人じゃない人も利用できるようにしている。そうすれば儲かるというか。国立博物館は売店を門の脇に移動している。そういう時代です。

だから、そういう物品販売的な物は必要じゃないですかね。なにしろ、レストランを直営はできないので、業者に入ってもらわないといけない。家賃は取れない。

色々課題はあるけど、計画そのものは是非進めて欲しいです。「歴史的な景観を創出します」とあるけど歴史的な景観はできないんじゃないかな。先程も言いましたが、何か一つは実物が欲しいな。

とりあえず、今日は人数少ないですが、こんな所でよろしいですか。
坂詰先生、何かありますか。

会長 そうなんですよね。とりあえず、多少意見が出たけれど、この流れで行きたいまとめることでよろしいですか。

事務局 はい。

坂詰委員 ちゃんと、小林さんの方で、今先生方から出た意見を整理しておいてこの全体計画の中で出来ることなら反映させて行くように執行部で相談する様な形にしないと、ただ先生方に報告してそれで終わりでは意味が無いからね。

おそらく文化庁の縛りもあるし、市長さんの意見も入っているし、商工会議所とか住民の意見をこれから取り入れないといけない。それらを全体とする中の一環として、文化財保護審議会の方の意見を聞きたい、というのが今日の報告事項なのですね。議論でも何でも無いですね。

だから、先生方の意見を参考にメモしておいて、全体会議で検討してもらう。

田中先生どうですか、そんなところで。

会長 先生方から意見は伺ったので、この件は終了とします。それでは報告事項（２）について、事務局の説明求めます。

報告事項（２） ケヤキ並木の出火について

事務局 資料２をご覧ください。先ず、平成２７年５月２０日にフォーリス前の義家像より北へ３本目のE 1 3 0というケヤキより出火がありました。

18：38 フォーリスより出てきたお客さんが、E 130より煙を発見し、大國交番へ通報しました。その交番から来た警官が消火を試みるも消えないので、消防署へ通報し、市へも連絡しました。市でも対応するため、現地に行くと火は出ていなかったのですが、煙が一向に収まらず、腐って洞になっているところの奥に火を入れられたようで、中で燻っていました。１時間３０分～２時間近く燻られた状態でした。つまり、鎮火になるまで約２時間掛かりました。かなりの量の水、約２トン程度を注入して消火作業したとのこと。

資料２の２ページがその木の鎮火後の写真です。左上が遠影の全体像で、上部が若干切れています。若干近づいた物が右上です。下段が洞の写真で、その

空いている所にホースを入れて中に放水したということです。

北側の木（E103ケヤキ）でも（平成26年5月に）出火があり、それから最近になるまでこういう事件が無かったのですが、最近石垣を一段下げまして、座れるようになったのですが、そこに溜まっている方々が居ます。

ここは本来、（喫煙禁止路線のため）煙草とかを吸ってはいけないことになっているのですが、煙草を吸っていたり、昼間からお酒を飲んでいる方が居ます。ただ、放火した人がどういう人なのかは分かりませんが、中に煙草か何かを入れられたのではないかなという状況です。

次に資料2の3ページ、最初の事件の約2週間後の6月4日にまた出火がありました。2ページの下段の写真でも分かるように、洞の手前に木屑のようなものが溜まっているのが見えますが、その木屑の手前側に置いてあるものから出火しました。4ページの上段はその消火した後の写真です。やはりまた火を付けら、消防署が出て鎮火となったということです。

2回立て続けに起きましたので、4ページの下段の写真のようにメッシュ状のシートを当課で購入し、現地にこのように設置いたしました。そうしたところ今のところ、この辺りで屯っていたりとかは無くなっています。

ただ、このシートの色は景観的には良くないとは思いますが、一応この形で洞の中に煙草を放り込まれるとか火を点けられるという事態は何とか防ぐことができていると思っております。

以上です。

会長 落ち葉とか溜まっていると、そこに吸殻を捨てる人多いね。家の近くの道路だけど、落ち葉を掃いてないで溜まっていると吸殻を捨てるようになる。そういうことなのかな。

相当、木は傷んだだろうね。

事務局 この緑色のシートを張る際に、若干、洞の中の腐った部分を取り除いてみたのですが、やはり奥の方まで腐っている状態でした。なお、この腐った部分を取り除いて良いという樹木医さんの判断がありました。ただ、シートを張るにしても、完全に空洞にするよりは多少でも有った方が良いのではという判断で、シートを張りました。

馬場委員 このシートはどのようなシートなのですか。

事務局 この設置した緑色シートは防火性のメッシュシートです。それにより風通しをなるべく図っています。樹木医さんのお話ですと、こういった物を設

置しない方が中が蒸れないので腐るスピードを抑えられるということでしたが、それよりも危険防止を図る観点が優先されますので、止む無く設置したという次第です。

会長 なるほどね。でもこれを半永久的にこうしておくのかな。

事務局 それは、ずっと設置したままには出来ませんので、いつかは外します。本格的に洞の部分を取り除いたりとか何らかの方法で、シートを外したいと考えております。

会長 そうだね。何か考えないといけない。

事務局 4ページの下段中央の写真をよく見ていただくと分かるのですが、シートの真上にキノコがあるのです、実はこれがこの木の洞を作った原因となるキノコです。このキノコの菌糸が木の中にある既に死んでしまっている組織、木質部と呼んでいる部分を食べて成長するのですが、その結果、木質部がスポンジ状になり、それが（乾燥していると）煙草の火とかで簡単に火が付くのです。それが火事の原因です。

以上です。

会長 そんなに歳取っていない感じの木だね。古木とはいえ100年位の木で明治になってから植えたのかな。

中村委員 こういうのは手の打ちようが無いとは思いますが、多少はということであれば、資料2の裏側（2ページ）の広い範囲を写した写真で、奥に立て札がありますね。そういうのを設置すれば、燃える物を捨て難くなる。完全な策ではありませんが。

事務局 緑色のメッシュシートを張った所にはあまり人が座らなくなっているので、今のところは対策にはなっています。

石垣が低くなったため、くらやみ祭で石垣内に入っている人がかなり居るといいう市長への手紙も来ています。関係課とも今後協議をしていく必要はあると考えています。

中村委員 （石垣を）低くしたのは座れるようにするためですよ。そこで煙草も吸うのも前提で

事務局 （座って憩うのは良いのですが、放火は）度が過ぎています。

会長 この木が倒れることは無いのですね。

事務局 はい、これにより倒れることは無いそうです。樹木医さんの話ですと、この腐っている部分の周囲が厚くなってしまっていて、上の部分を支えるには十分な強さは今のところあるそうです。

会長 中身無くても周囲だけで生きているのか。

坂詰委員 役所として対応を考えておくことで、これは天然記念物ですからね。管理責任が府中市には有る。そうした場合、市役所として府中警察に重点パトロールを時間を決めてやっていただくということをやったらどうですか。こういう場合には普通はやりますね。

もう一つは、自転車を整理するボランティアか職員か知りませんがそういう人が居ますね。（シルバー人材センターに委託しているのちょこりんスポット監視員）ああいう人達にも呼びかけて勧告してもらうというようなこともやる必要があるじゃないかと思う。

要するに管理者としてこういう事態が起こったのだから、それに対する対応策をやらないと、今後も起こる可能性はあります。僕はそう思う。関係部署と相談してきちんとやってください。

会長 そうだね。

事務局 一応、放火らしきものなので、最初の日と2回目の日に警察も動いて捜査しているそうです。所有者が大國魂神社なので、火災の後で警察に（被害）届をお願いしました。

あと、監視カメラがああ場所には何箇所か有りますので、（警察は）そのカメラの映像も見ていると思います。

坂詰委員 役所は、警察や消防署が動こうが、（それとは別に）それぞれの立場で動く、管理責任者としてきちんと対応しないと、あなた方が（責任を問われる）だから、監視体制はきちんとしておいた方が良い。

事務局 はい。わかりました。

会長 やはり、はっきりと分かる場所に監視カメラを設置しておくのが良いと思います。

坂詰委員 武蔵国分寺の収蔵庫が放火で焼けたでしょう。あれ未だ犯人が検挙されていないのです。

(警察は) 現行犯じゃないと動けないと言う。それからの役所の対応はぴしっとしている。

会長 夏の間は特に心配ですね。冬はそうでもない。

以上でいいですね。それでは報告事項(2)は終わってその他について事務局の説明を求めます。

報告事項(3) その他

事務局 平成27年度ふるさと府中の歴史講座～府中市遺跡調査会発足40周年記念～発掘調査40年からみた府中の歴史という題材で講座を7回開催する予定です。各時代毎の話を各職員が1回ずつ担当し、第5回については「遺跡めぐり」ということで市内の遺跡を巡る予定です。現在は、どこの遺跡を巡るのか、それはその時の状況で決めます。

それから、府中市郷土の森博物館のあじさい祭が5月30日より7月5日まで行われております。

また、同館のプラネタリウムでは「ちびまる子ちゃん星にねがいを」という番組を放映しております。今まではアニメーションと実写版での放映はしていましたが、プラネタリウムの題材にされたのが今回は初めてです。これは放映20周年記念ということで、府中市を皮切りに全国のプラネタリウムで上映する予定です。コニカミノルタさんが製作されたということで、7月中旬にはコニカミノルタの直営プラネタリウムでも上映するそうです。

それから、多摩のあゆみ第158号「特集 宝永の富士山大噴火」に、当館囑託の湯瀬が寄稿しておりまして、それに合わせて現在1階で宝永の富士山火山について、その内容に即した展示をさせていただいておりますので、この回終了後に下の展示をご覧いただきたいと存じます。

以上です。

次回は平成27年度の府中市文化財保護審議会の第2回です。

日程は、8月25日(火)、26日(水)、28日(金)、9月2日(水)、3日(木)、4日(金)を候補日とし、近日中に委員全員にファクシミリないし

電子メールで連絡を取り決定することとなりました。

期日が近づきましたら、委員の皆様のご都合を合わせ、実施することといたします。